

# 戦艦「大和」最期の戦いを伝える

WATER LINE SERIES

1/700 ウォーターライン《菊水作戦BOX》大和最期の決戦 (7月発売予定) 19,250円 (本体価格 17,500円)



## 菊水作戦

第二次大戦中から最新鋭の艦艇まで230隻以上ものラインナップを誇る1/700ウォーターラインシリーズ。世界最大級の戦艦「大和」でも全長367mmというコンパクトサイズに加え、喫水線以下の艦底部分を省略したスタイルはコレクションにも最適です。その中心となっているのはもちろん旧日本海軍の艦艇群。太平洋戦争で連合軍と歴史に残る戦いを繰り広げた連合艦隊の勇姿を、あなたの手で机の上に蘇らせてください。

《菊水作戦について》太平洋戦争も終盤の昭和二十年四月六日午後、日本海軍最後の艦隊が山口県徳山沖から出撃しました。沖縄に上陸を開始した連合軍に対する守備隊の総攻撃や陸・海軍航空機による特攻作戦を支援するため、残存している水上艦艇を突入させることが決定されたのです。この沖縄戦で実施された日本海軍による一連の攻撃は「菊水作戦」と名付けられていました。切り札として温存されていた戦艦「大和」を旗艦として、軽巡洋艦「矢矧」と8隻の駆逐艦「冬月」「涼月」「朝霜」「初霜」「霞」「磯風」「浜風」「雪風」による第1遊撃部隊が編成され、海上特攻隊と命名されました。「大和」の任務は艦を沖縄本島の残波岬に座礁させて砲撃を行い、その後は乗員を陸戦隊として突撃させるという生還を期さないものだったのです。艦隊は豊後水道から大隅海峡を通過する間は潜水艦を警

戒した第1警戒航行序列、その後は輪形陣の第3警戒航行序列に移行し、進路を秘匿するためいったん西北西に向かいました。すでに日本近海でも制空権、制海権とも失われていたにもかかわらず、九州を離れると護衛戦闘機もすべて帰投してしまいました。しかし第1遊撃部隊の行動は出撃のわずか5時間後には米潜水艦に察知されていたのです。翌4月7日早朝、艦隊は米偵察機との接触を機に進路を南に変更。正午過ぎには12隻の米空母から飛び立ったヘルダイバー急降下爆撃機やアベンジャー雷撃機など攻撃隊の第一波が飛来し、「大和」に攻撃を集中したのです。三式弾装備の46cm砲9門を初めとする数百の対空火器で激しく応戦し、最大戦速で回避する「大和」に向けて次々に命中弾や至近弾が加えられました。その後も絶え間ない波状攻撃は2時間あまりも続き、延べ300機以上の米軍機が襲来。左舷に集中的に魚雷攻撃を受けた「大和」はついに傾斜復元が不可能となり左へ転覆。巨大な爆発とキノコ雲を上げて坊ノ岬沖の海中に没したのです。護衛の艦隊も大きな被害を被り、佐世保に帰投できたのは「冬月」「雪風」「初霜」そして艦首を大破して後進航行してきた「涼月」のみとなりました。大艦巨砲主義が終焉を迎えた時代に誕生した悲劇の戦艦「大和」が、その実力を発揮する機会はいかに訪れなかったのです。

### 昭和二十年四月六日《菊水作戦BOX》大和最期の決戦

- ①日本戦艦 大和 (タミヤ) ②日本軽巡洋艦 矢矧 (タミヤ) ③日本駆逐艦 朝霜 (ハセガワ) ④日本駆逐艦 霞 (ハセガワ)
- ⑤日本海軍駆逐艦 磯風 (アオシマ) ⑥日本海軍駆逐艦 涼月 (アオシマ) ⑦日本海軍駆逐艦 初霜 (アオシマ)
- ⑧日本海軍駆逐艦 浜風 (アオシマ) ⑨日本海軍駆逐艦 冬月 (アオシマ) ⑩日本海軍駆逐艦 雪風 (アオシマ) **10艦セット**

特製専用  
パッケージ



上田毅八郎 画『大和最期の決戦』  
ポスター付き (サイズ38×28cm)



株式会社 青島文化教材社 株式会社 タミヤ 株式会社 ハセガワ

ホームページアドレス  
アオシマ [www.aoshima-bk.co.jp](http://www.aoshima-bk.co.jp) ●価格はメーカー希望小売  
タミヤ [www.tamiya.com](http://www.tamiya.com) 価格です。●掲載されてい  
ハセガワ [www.hasegawa-model.co.jp](http://www.hasegawa-model.co.jp) るモデルはすべてキットを組  
み立て、塗装したものです。  
静岡模型教材協同組合 〒422-8610 静岡市駿河区恵田原3-7